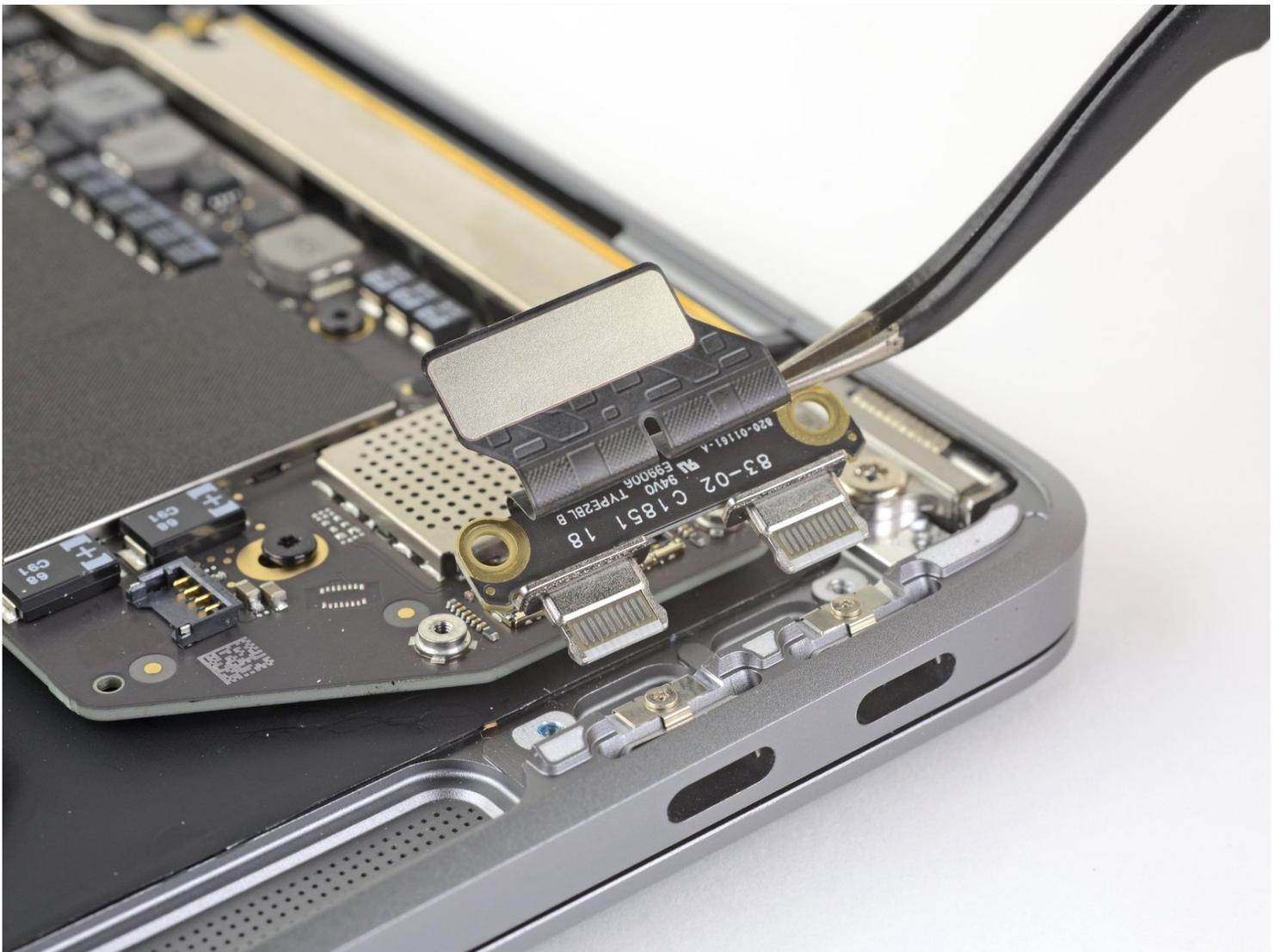




MacBook Air 13インチ Retina Display 2019 USB-Cボード の交換

このガイドを参照して、MacBook Air 13インチ Retina Display...

作成者: Adam O'Camb



はじめに

このガイドを参照して、MacBook Air 13インチ Retina Display 2019 USB-Cボードを交換します。

ツール:

[ピンセット \(1\)](#)
[スパッジャー \(1\)](#)
[P5 ペンタローブネジ用ドライバー \(Retina MacBook Pro/Air用\) \(1\)](#)
[T4 トルクスドライバー \(1\)](#)
[T3 トルクスネジ用ドライバー \(1\)](#)

部品:

[MacBook Air 13" \(Late 2018-Late 2020\) USB-C Board \(1\)](#)

手順 1 — 下部ケースを固定しているネジを外します



① この手順を始める前に、Macのオートブート機能を解除する必要があります。自動起動中、蓋を開けるとMacの電源をオンにし、分解中に誤ってトリガーされる可能性があります。[こちらのガイド](#)を参照して自動起動を無効にします。

- MacBookにBig Sur v11.1以降がインストールされている場合、自動起動を無効にするとうまくいかないことがあります。通常通りに作業を進めることができますが、開口できたらすぐにバッテリーを外してください。

⚠ 作業を始める前に、MacBook Airの電源を切り、プラグから外します。ディスプレイを閉じて、ラップトップ全体を裏返します。

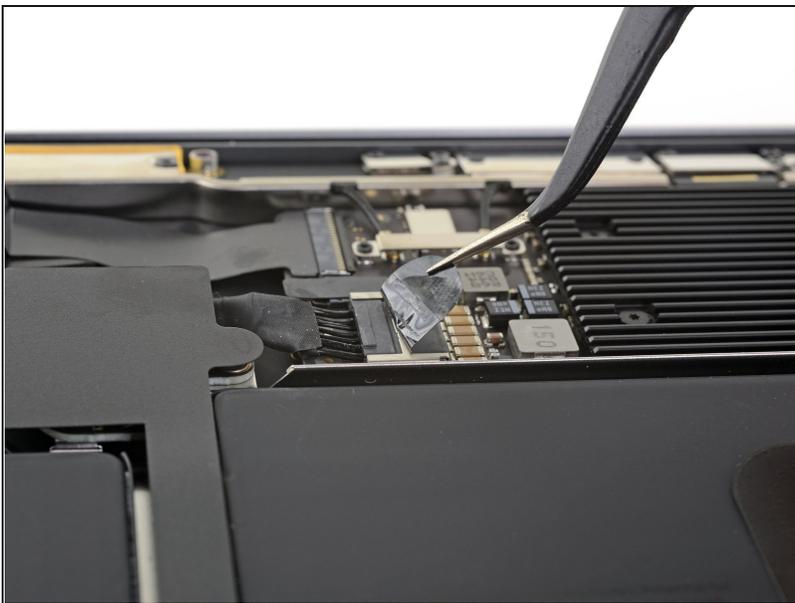
- P5ドライバーを使って、次のネジを外します。
 - 7.9mmネジ—2本
 - 7.1mmネジ—2本
 - 2.6mmネジ—6本

手順 2 — 下部ケースを取り出します。



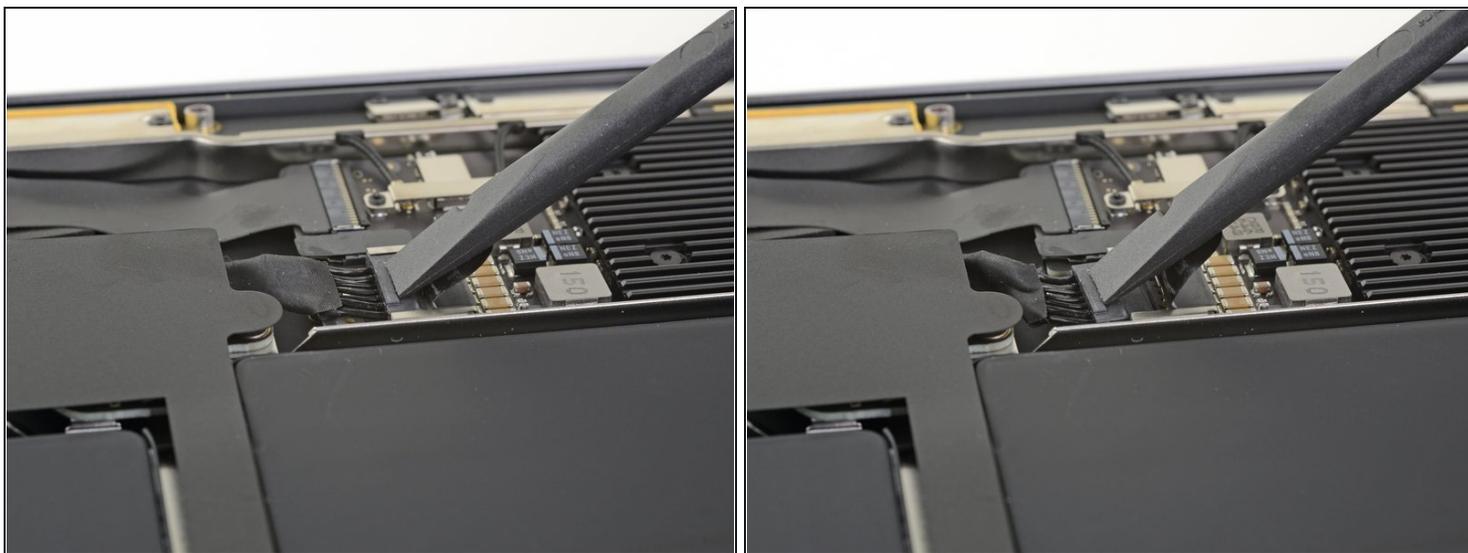
- 指先をディスプレイと下部ケースの間に挟んで、Airから下部ケースを上向きに引き上げます。
- 下部ケースを取り出します。
- ☑ 再組み立て後、電源に接続するまでMacBookの電源が入らない場合があります。修理を試すには、充電器を接続し、MacBookの電源が入るまで2分ほど待ち、すべてが期待通りに動作することを確認してください。

手順 3 — バッテリーの接続を外します。



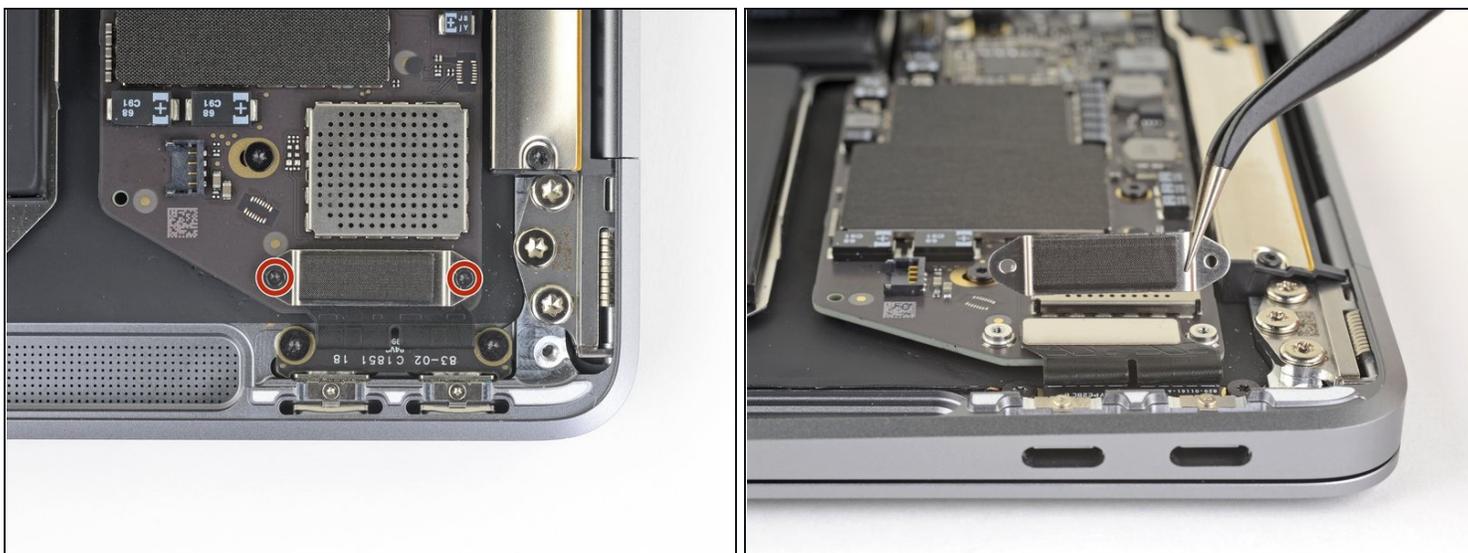
- バッテリーコネクタを覆っているテープを剥がして、下のコネクタを露出させます。

手順 4



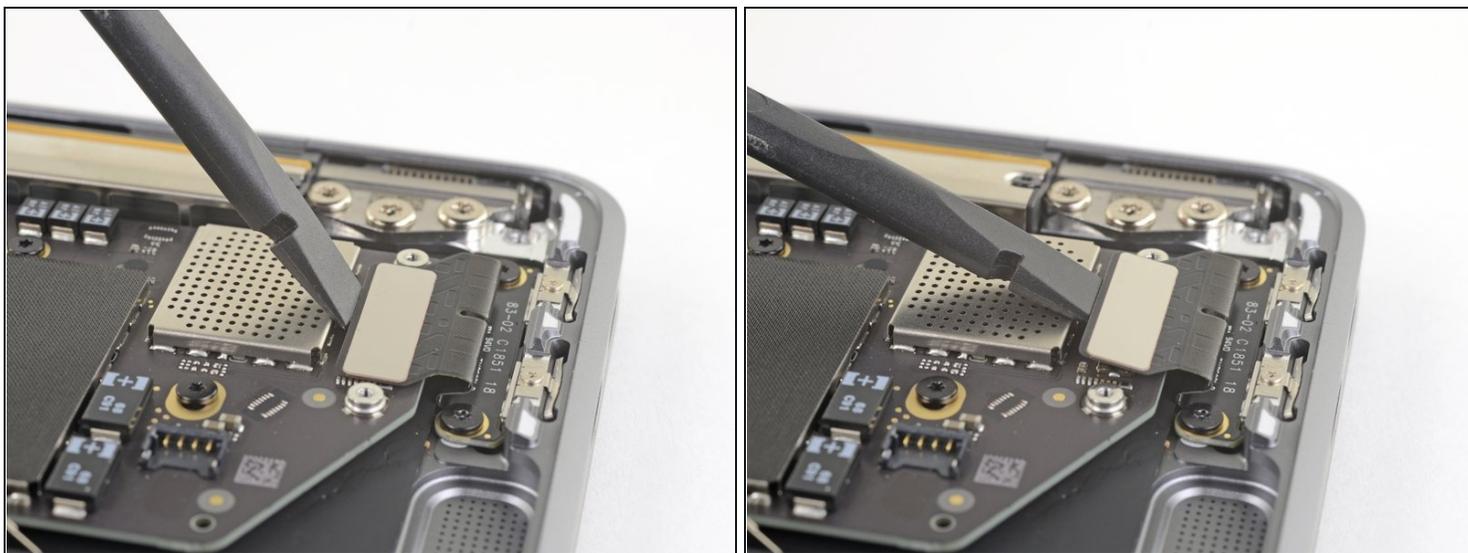
- スパッジャーを使って、バッテリーコネクタの下に差し込み、ロジックボードと並行にスライドして、ロジックボード上のソケットからコネクタを外します。

手順 5 — USB-Cボードを外します。



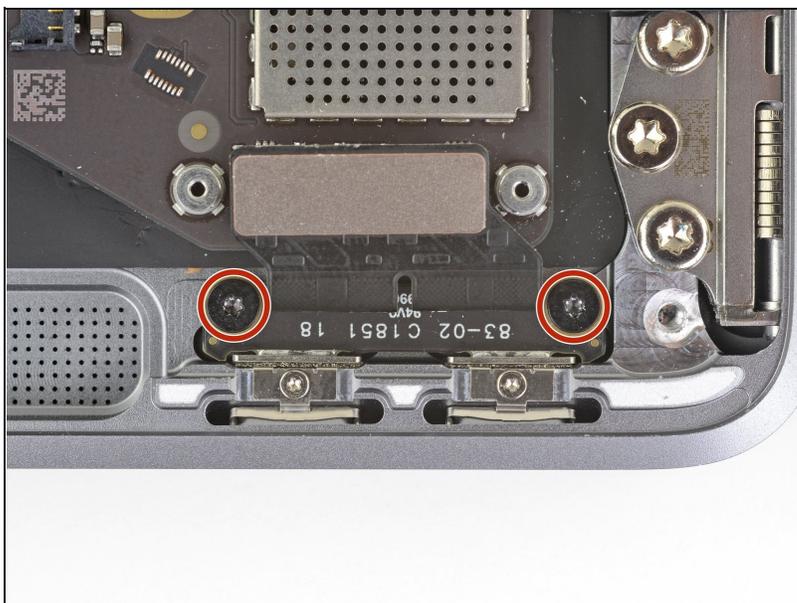
- T3トルクスドライバーを使って、USB-Cコネクタのブラケットを固定している1.4mmネジを2本外します。
- USB-Cコネクタのブラケットを取り出します。

手順 6



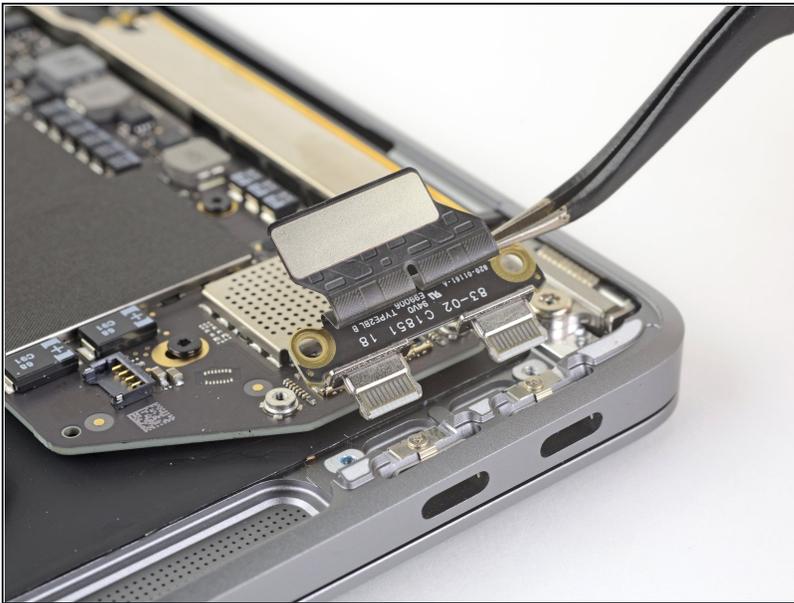
- スパッジャーの平面側先端を使って、USB-Cケーブルのコネクタをこじ開けて、ロジックボード上のソケットから外します。

手順 7



- T4トルクスドライバを使って、USB-Cボードを固定している、2.9mmネジを2本外します。

手順 8



- USB-Cボードが取り出せます。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？まずは[ベーシックなトラブルシューティング](#)を試してみるか、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。